

議案の審議結果

凡例： ○…賛成、×…反対、—…退席

板倉 香議長（創政クラブ）は採決には加わっておりません

賛成全員で可決された議案等

議案番号	議案等名
【第1回臨時会】	
1号	牛久市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について
2号	牛久市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
3号	平成29年度牛久市一般会計補正予算（第5号）
【第1回定例会】	
5号	牛久市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例について
6号	牛久市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
7号	牛久市文化芸術振興条例の一部を改正する条例について
8号	牛久市地域福祉計画審議会設置条例の一部を改正する条例について
9号	牛久市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について
10号	牛久市障害者自立支援協議会条例の一部を改正する条例について
11号	牛久市国民健康保険条例の一部を改正する条例について
12号	牛久市介護保険条例の一部を改正する条例について
13号	牛久市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について
14号	牛久市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
15号	牛久市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
16号	牛久市地域包括支援センターの運営及び人員に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
18号	牛久市営住宅条例の一部を改正する条例について
19号	平成29年度牛久市一般会計補正予算（第6号）
20号	平成29年度牛久市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
21号	平成29年度牛久市公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）
22号	平成29年度牛久市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）
24号	平成30年度牛久市国民健康保険事業特別会計予算
25号	平成30年度牛久市公共下水道事業特別会計予算
26号	平成30年度牛久市青果市場事業特別会計予算
27号	平成30年度牛久市小規模水道事業特別会計予算
28号	平成30年度牛久市介護保険事業特別会計予算
29号	平成30年度牛久市工業用地造成事業特別会計予算
31号	牛久市道路線の認定について
32号	牛久市道路線の路線変更について
33号	牛久市道路線の廃止について
34号	牛久市等公平委員会委員の選任について
決議案第1号	「小坂城址土地購入」に関する調査特別委員会の平成30年度調査経費に関する決議について
意見書案第2号	政治分野における男女共同参画の推進を求める意見書の提出について
意見書案第3号	性犯罪等被害者への支援の拡充を求める意見書の提出について
意見書案第6号	旧優生保護法下において避妊を強制された被害者に対する謝罪と賠償等を求める意見書の提出について

賛否が分かれた議案等

議案番号	議案等名	創政クラブ 6人	市民クラブ 3人	公明党 3人	日本共産党 3人	雄徳クラブ 2人	無党派 (石原)	無党派 (小松崎)	無党派 (山本)	無党派 (長田)	無党派 (伊藤)	議決結果
【第1回臨時会】												
4号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
【第1回定例会】												
17号	牛久市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第9条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
修正案	平成30年度牛久市一般会計予算に対する修正案	○ 市川、池邊	×	×	×	○	×	×	×	×	×	否決
23号	平成30年度牛久市一般会計予算	○ 市川、池邊	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
30号	平成30年度牛久市後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
意見書案第1号	地方議会議員年金制度の復活に反対する意見書の提出について	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
意見書案第4号	子育て支援の拡充を求める意見書の提出について	×	○	×	○	×	○	○	×	○	○	否決
意見書案第5号	東海第二原発の延長申請の強行に抗議し、茨城県と原子力所在地域首長懇談会6市村に要望する意見書の提出について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成29年請願第5号	牛久市の育児支援に関する請願	×	○	×	○	×	○	○	×	○	○	不採択

請願・意見書・決議

平成29年請願第5号
牛久市の育児支援に関する請願
ゼロ歳児から、自宅に籠らず外に出したくても、地域の子育て出張場が週に1回もないこと、牛久駅エスカードの活性化を図る意味でも、エスカード内に気軽に遊びに行ける、他市にはない大型子育て広場を作ることを求めるもの
賛成少数で不採択

意見書案第1号
地方議会議員年金制度の復活に反対する意見書の提出について
地方議会議員年金制度廃止後も、莫大な税金投入が続いており、この制度を復活させれば、さらなる公費負担が必要となることから、各議長会が進める地方議会議員年金制度の復活に断固反対し、制度復活しないよう強く求めるもの
賛成多数で可決

意見書案第2号
政治分野における男女共同参画の推進を求める意見書の提出について
「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律案」の早期制定を強く要望するもの
賛成全員で可決

意見書案第3号
性犯罪等被害者への支援の拡充を求める意見書の提出について
性犯罪、性暴力被害者ワンストップ支援センターの設置を都道府県に促すことを内容とする法律を早急に制定すること、性犯罪等被害者支援のための施策を総合的に策定し、必要な財政上の措置を講ずること等を求めるもの
賛成全員で可決

意見書案第4号
子育て支援の拡充を求める意見書の提出について
すべての子どもたちが健全に安心して育つことができ、すべての保護者がゆとりと責任をもって子育てができる社会の実現のため、政府に対し子育て世代包括支援センターを中核とする、子どもの育ちや子育てを支える地域ネットワークを全国で推進すること等を求めるもの
賛成少数で否決

意見書案第5号
東海第二原発の延長申請の強行に抗議し、茨城県と原子力所在地域首長懇談会6市村に要望する意見書の提出について
原電による東海第二原発の20年延長の強行に強く抗議するとともに、茨城県と原子力所在地域首長懇談会6市村の同意なしに、延長も再稼働も認められないことを主張し続けていただきたいこと、東海第二原発の延長と再稼働に対し、民意に沿って反対の態度を堅持すること等を求めるもの
賛成多数で可決

意見書案第6号
旧優生保護法下において避妊を強制された被害者に対する謝罪と賠償等を求める意見書の提出について
1948年から1996年まで続いた旧優生保護法に基づき、多くの人々に不妊強制手術がなされ、本年1月に宮城県の女性が初めに国家賠償を求める裁判を起こしたことを受け、国及び関係機関に対し、被害者への早急な謝罪、賠償及び相談窓口の設置を含む救済制度を整備すること等を求めるもの
賛成全員で可決

決議案第1号
「小坂城址土地購入」に関する調査特別委員会の平成30年度調査経費に関する決議について
本委員会は、牛久市小坂城址土地購入事務処理調査委員会調査報告書における「調査には限界があり不十分な調査結果となった」という提言に基づく調査を目的として、平成29年9月21日に設置され、調査を行ってきたが、今後も引き続き調査を要することから、平成30年度についても下記の調査経費を計上し、調査を行うもの
賛成全員で可決

次回定例議会日程

6/5	(火)	本会議(提案説明)	議場
7	(木)		
8	(金)	本会議(一般質問)	議場
11	(月)		
12	(火)	本会議(質疑)	議場
13	(水)		
14	(木)	常任委員会	第3会議室
15	(金)		
19	(火)	本会議(採決)	議場

今回の定例議会は、左記の予定で開催いたします。開会は午前10時です。なお、日程は変更になる場合があります。詳細は議会事務局へお問い合わせください。029(873)2111(代)

※本会議は、市役所2階ホールの特設モニターでも生中継がご覧いただけます。また、インターネットにより本会議の録画も放送しています。

傍聴をお待ちしております

無党派	雄徳クラブ	日本共産党	公明党	市民クラブ	創政クラブ	会派名
伊藤 裕一	石原 幸雄 山本 伸子	遠藤 憲子	藤田 尚美	黒木のぶ子 杉森 弘之	市川 圭一 板倉 香	中根利兵衛 柳井 哲也 池辺己実夫 守
長田 麻美	小松崎 麻美	鈴木かずみ	秋山 泉	須藤 京子		議員名
	守屋 常雄					

編集後記

英国では今年1月、新たに「孤独担当相」を設置しました。人口6500万人の英国には孤独を感じている人が900万人いるとされ、今後政策を検討していく方針です。

ひるがえって、日本ではどうでしょう。先進国が加盟する国際機関OECDの05年の調査によれば、友人、同僚などほとんど付き合わない人は、15・3%と21か国平均の2倍以上でした。家族以外のボランティアや地域活動への参加などといった社会や地域における人々との結びつきを表す「社会関係資本」も低くなっています。

第158回芥川賞受賞作「おらおらでひとりいぐも」。故郷を捨てた女性が結婚し子供を育てあげ、そしてある日迎える夫の死。63歳の著者が自分の経験を主人公に重ね、孤独と自由について書かれたこの小説が、多くの人に読まれているのも、先のことと関連するのではないのでしょうか。

個人の問題ではなく、社会の問題として捉える英国の取り組みに注目したいと思います。

広報常任委員会
委員長 山本 伸子
副委員長 藤田 尚美
委員 遠藤 憲子
須藤 京子
山越 守
池辺己実夫
伊藤 裕一